



大月駅逸品



～花と岩の駅～ 大月駅へ

大月は、大月市の中心に位置しています。市のシンボルとして親しまれている『岩殿山』は、鏡岩と呼ばれる大岩壁が特徴で、戦国期には武田家の重臣小山田氏が岩殿城を築城し、関東三名城のひとつに数えられていました。

春には、約 3,000 本の桜が咲き誇る真木お伊勢山と共に桜の名所として大月さくら祭りが同時開催し、多くの人々が集います。

また大月駅の南側に位置する菊花山は、観賞石として有名な菊化石（中に菊の模様がある石）が取れることでその名がついたと言われています。

旧甲州街道の宿場町であった下花咲の本陣『星野家住宅』では、春には江戸時代から伝わる享保雛も飾られ、桃の節句を彩ります。

花と岩にちなんだ見所の多い大月には、他にも『一里塚跡』や『子の神古墳』などの史跡がそこかしこに残っています。

ゆっくりと歩きながら、歴史を訪ねるのも一興です。



食品類



厚焼煎餅（栄月製菓）



小麦粉を使った手焼きの煎餅に、地元で採れた木の実や木の芽をあしらった風味豊かな煎餅。

秘法三枚重焼で焼き上げた歯ごたえのある堅さで、懐かしいおいしさです。

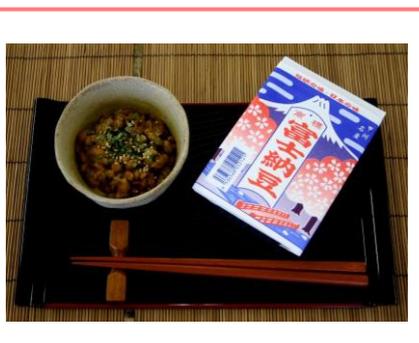
◇厚焼木の実煎餅

◇岩殿山煎餅

◆栄月製菓

TEL0554-22-6223

富士納豆（富士納豆製造所）



富士納豆は中粒、ふっくら、そして歯ごたえがしっかりとした大豆を使用しています。

水はすべて富士山より流れてくる富士山麓のおいしい水で作られています。

納豆独特のにおいを控えめにし、特製のタレも甘さをおさえていますので、納豆嫌いの方でも好きになる逸品です。

◆富士納豆

TEL0554-22-0006



弥生の舞（ミネラルウォーター）
山河亭観光有限会社



弥生の舞は、富士山に連なる大自然に囲まれた環境汚染や大気汚染とは無縁の環境の地層で生まれ、地下 500 メートルにある数億年前の岩盤の割れ目から湧水している自然水を使用しています。

アルカリ性軟水で、欧州の国際品評会「モンドセレクション」で最高金賞を受賞しました。

ミネラルなども豊富に含むと専門家からも評価されています。

◆山河亭観光有限会社

Tel.0120-00-7841

真木の里まんじゅう（かりん 花田 宏）



昔の味を追求した手作りのおまんじゅうです。

手作り酵母で無添加、合成着色料、保存料は一切使用しない健康志向にこだわった逸品です。

◇おまんじゅう

種類:あずき、みそ、野沢菜、高菜、くり（季節限定）

◆かりん

Tel.0554-22-6111

甲州名物ほうとう（濱野屋）



甲州の伝統料理「ほうとう」は、味噌でじっくり煮込んだ地元産の季節の野菜と腰の強い手打ち麺とが見事に調和した逸品です。

「ほうとう」を食べたいお客さんは、煮込む時間を待ってでも食べていく名物です。

◆濱野屋

Tel.0554-22-1372

天然醸造みそ（吉村糀店）



国産大豆 100%使用、糀は自家製、また天日塩含有塩を入れ、1年以上ねかした無添加「天然醸造みそ」です。

みそには大豆イソフラボンなど健康に役立つ栄養分が豊富に含まれています。

天然醸造みそ

◆吉村糀店

Tel.0554-22-3838



窯出しチーズ (お菓子工房エイゲツ)



厳選された素材でパティシエが作りだすこだわりのケーキ。
ふんわりとろける様なやわらかな食感。
一口サイズで食べやすいチーズケーキです。
◇窯出しチーズ、ケーキ、焼き菓子

◆お菓子工房エイゲツ
Tel.0554-23-1011

クッキー (どんぐり牧場)



世界遺産・富士山が美しく見える自然豊かな真木（まぎ）にあります。

“野草の里”のウコンや国産小麦等を使用した、素朴でしっかりとしたクッキーを計って・混ぜて・型抜きして皆様に・・・と焼いています。

富士山・ビュースポットにお越しの際には、香りに誘われて足をお運びください。 <めばえ>

◇クッキー ◇天然酵母パン ◇卵 (1 kg)

◆就労支援事業所めばえ
Tel.0554-22-3467

製麺 (トウエイ物産)



小麦粉 100%使用の無添加で、のどごしのよい歯ごたえのある麺です。

消費者本位で偽りのない麺を作っており、リピーターも多い逸品です。

お土産用のほうとうも生産しています。

◆トウエイ物産
Tel.0554-22-2010



甲州鳥もつ煮 (アイ・フーズ)
富士豚井の具
大月鳥もつ井の具



甲州鳥もつ煮、大月鳥もつ井の具は大月の玉葱と一緒に絡めたことにより、柔らかく、甘みがあって非常に美味しいです。

また、富士豚井の具は富士ヶ嶺の自然豊かな環境と富士山の伏流水流水を飲用として大切に育てた豚肉を使用したことから、歯ごたえが良く、やはり大月の玉葱を絡めたことから、甘みがあり、非常に美味しいです。

◆株式会社 アイ・フーズ 井上
TEL 0554-23-1639

月まんじゅう (まんじゅうや要)



酒かすと糀菌で発酵させたおまんじゅうです。

甲州産小麦、北海道あずき、大月産の酒かすなどを主原料とし、手作りで仕上げたものです。

なつかしい味を楽しんでください。

◇おまんじゅう

種類：つぶあん・高菜・ウコンの皮につぶあん・季節限定

◆まんじゅうや要
TEL 0554-23-1782

おおつき納豆 (大月大豆倶楽部)



納豆専用小粒大臣、コスズを大月市内で減農薬栽培して、生産しているのが特徴である。

◇おおつき納豆

◆大月大豆倶楽部
TEL0554-23-1912



星野家住宅（大月町花咲）



星野家は旧甲州街道の宿場町だった下花咲の本陣です。

江戸時代には名主や問屋などをつとめ、明治13年に明治天皇が巡幸の際、ご休息されました。

主家と靱蔵および味噌蔵、文庫蔵の三棟と家相図一枚が国の重要文化財に指定されています。

春には江戸時代から伝わる享保雛も飾られ、より一層楽しむことができます。

岩殿山



岩殿山は、かつては円通寺（現在は廃寺）を中心とした関東有数の修験道場で、戦国期には武田家の重臣小山田氏の城がありました。

鏡岩と呼ばれる大岩壁は標高差約120メートルあり、要害堅固な山城は戦国の世にふさわしいものでした。

山頂からの眺めも素晴らしく、特に前衛の山々の上に長く裾野をひく富士山の姿は息をのむ程の美しさです。

また春には桜の名所として多くの人々が集います。

真木諏訪神社本殿

（大月町真木）



1間社、千鳥唐（から）破風（はふ）つき入母屋造りで、向拝は軒唐破風つきの屋根は当初檜皮葺（ひわだぶき）でしたが、現在は銅皮葺です。

身舎の正面の扉、側面と背面の柱間板壁および切目縁の後方にある脇障子その他に彫刻があり、華やかで装飾的です。

特に、脇障子の彫刻は道教的内容の画題を扱ったもので、桃山時代に好んで描かれたものであり、その意匠構成は見事なものです。

この本殿は、現存する棟札から宝暦10年（1760）、寛政8年（1796）、文政10年（1827）に再建されたと推定されますが、現在の建物は、下真木小林春雄家所蔵の宮普請負証文により文政10年のものであることが裏付けられています。

一里塚跡（大月町花咲）



一里塚は、旅人の里程の目安にするためのもので江戸時代の初めに整備された五街道の一つ甲州街道沿いに一里（約4Km）毎に設けられました。

下花咲の一里塚は、江戸から24番目になります。



子の神古墳（賑岡町強瀬）



7世紀末に造られた横穴式古墳です。
昭和49年に発掘調査の結果、直刀(ちよくとう)一口、須恵器(すえき)4個体分の破片、鉄鏃(てつぞく)、刀子(とうす)、人間の臼歯(きゅうし)などが確認されました。

間明野のエノキ（大月町真木）



金山神社境内の北東隅にあり、樹種はニレ科のエゾエノキでエノキに似ていますが、葉の表面がざらつき、葉の下部から先の尖った鋸葉がつくことや、果実が黒色である点などで区別できます。
樹高約12m、根元の周囲4.32m、目通幹囲3.5m、主幹の根元から約4m上方まで中心部が朽ち枯れて南側に縦に長く開口しており、その上で北東へ傾斜しています。

無辺寺のトチノキ（大月二丁目）



市内最大のトチノキの巨樹で、無辺寺の裏山の北向きの斜面に立っています。
樹高約22m、根元の周囲4.5m、目通幹囲4.3m、枝下1.5m。
幹にはトチノキ特有の渦巻き文様が見られます。
樹勢は極めて旺盛で枝葉もよく繁茂し、豊富に実をつけます。

駒橋宿



駒橋の三島神社境内にはかつて4本の大ケヤキがありました。今では、その後に「大槻 回四十五尺」など、木の周囲を示した碑が残されています。
大ケヤキを古くは大槻と呼んでいたことから、この辺りを大槻と言うようになったと言われています。
大月になったのは江戸時代のことで、駒橋から見た月が特に大きく見えたからだそうです。
猿橋から駒橋の宿に向かう街道沿いは、十辺舎一九の「諸国道中金之草蛙」の挿画に使われた「青面金剛」の庚申塔があります。



大月防空監視哨跡 (大月町花咲)



桂川と笹子川の合流点近く、高川山から続く尾根の最東端に防空監視哨跡があります。

富士山のそびえる南西方向に視界の利く場所です。

サイパン島を発進したB29が昼間に東京地方に来襲する際には、富士山を目標に飛行し、そこで東に進路を変更する侵入コースをとっていたため、大月は、この意味において、防空上の要地でありました。

跡地には直径5m、深さ1.5mほどの石垣積みの聴音壕と、その西に事務所の基礎が残っています。

関場の石仏群 (駒橋三丁目国道20号横尾橋西)



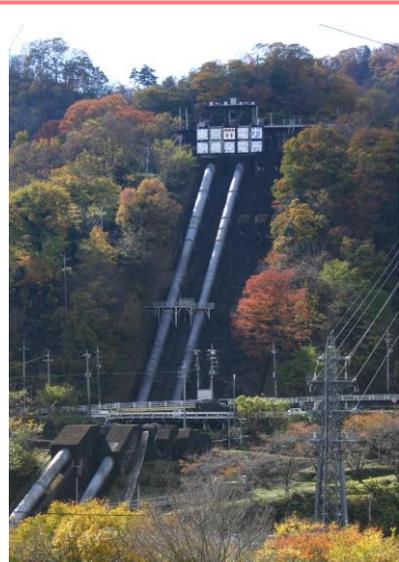
東京電力駒橋発電所の送水管の西側の関場には50基以上の石仏が集められています。

通常、車で通ったのでは気付かない場所ですが、多くは馬頭観音であり、明治時代以降の道路工事の際に工区にあったものを集めたものと推測されます。

目立たない場所に一箇所に集められた状況は見事で、集められた石仏たちは話し相手に不自由しないことでしょう。

是非、歩いて訪れてみてください。

東京電力駒橋発電所 (駒橋三丁目)



明治40(1907)年、東京電燈が山梨県北都留郡廣里村(当時)の駒橋に建設した駒橋発電所は、当時としては日本最大出力15,000kWの水力発電所でした。早稲田変電所までの76kmを55kVの特別高圧線で送電を行い、その後本格化する高電圧長距離送電の草分けとなりました。

東京では明治30年代になって増加する電力需要をまかなうため東京電燈(東京電力の前身:明治19年営業開始)によって火力発電所が増設されていましたが、日露戦争などの影響による産業政策で石炭が慢性的に不足するようになり、火力発電では増加する電力需要に応じきれなくなったため、水力発電による東京への長距離送電が計画されました。

長距離送電技術の研究と水利調査などを経て山梨県大月に「駒橋発電所」を造り(明治39年1月着工、明治42年12月20日竣工)、早稲田変電所へ初めて水力発電による長距離送電を開始しました。



農林水産物



山百合（食用百合根）



大月市花木振興研究会が山百合を栽培し、球根を観賞用に販売しています。

この技術を活かし、近年高級食材となった百合根を食用として提供できれば、後継者作りとビジネスに貢献できる地域の逸品になると思います。



工芸品



ガラス工芸

（白石ガラス工房 白石 精一）



手吹きガラス、ワイングラス、手吹きガラスの徳利、ぐい飲みなど、完全手作りの手吹きガラス工芸品を販売しています。

「吹きガラス体験教室」も開催しており、溶けたガラスをパイプで巻き取り膨らませて、グラス・小鉢・一輪挿しなど自分だけのオリジナル作品が作れます。（料金 3,500 円／人）

◆白石ガラス工房

TEL0554-23-1458

真木陶芸

（うつわ陶房 氏家 孝法）



三島と呼ばれる器を作陶。

三島とは、印花という判を押して凹んだ所に白土を入れる事により模様となる技法です。

印花も自ら作るため、オリジナル性の高い器となります。

同じ模様の組み合わせがないので、全てがオンリー碗です。

◆うつわ陶房

TEL0554-23-4614

郡内織物



甲斐絹は、江戸時代初めに著しく発展した郡内絹のことで、井原西鶴の作品にも登場しています。

その技術は今でも大切に継承されており、高密度の先染め織物で糸の段階で先に色を付けて、その後、糸を巻いてから織っています。

ジャガード織りで、非常に丈夫で座布団生地は20年以上も使用できます。生産量の約8割は座布団生地です。

◇大月織物工業協同組合

TEL0554-22-1668



水稻・野菜栽培技術者 小俣 善弘
(賑岡町畑倉)



長年農業に従事し、高品質の水稻・野菜・シクラメン等の生産販売を行っています。

農業や生活の体験を生かし、地元畑倉小学校において、学校農園の管理指導を行ってきました。

現在、小俣喜逸氏から善弘氏がその技術を引き継いでいます。

山百合栽培技術者 小幡 稔
(賑岡町強瀬)



大月市の市花である山百合の普及及び植栽振興に尽力しています。

山百合栽培の技術者として全国で活躍した小俣虎雄氏の後を継ぎ、現在は小幡稔氏が山百合栽培の技術を引き継いでいます。

播種から栽培管理に至るまで、山百合栽培に関するアドバイスや情報提供等も積極的に行っています。

菓子職人 中込 正夫
(大月木村屋)



左の写真は「第 25 回全国菓子大博覧会 姫路菓子博 2008」の山梨県ブースを彩った工芸菓子「花車」です。

この作品は砂糖を約 5 kg使って桜やアヤメ、ボタン、モミジ、ツバキの 5 種類の花を作っており、台車とかご以外はすべて砂糖でできていて、仕事の合間を縫った作業は約 1 か月以上にも及んだそうです。

「色が付いた砂糖を引き伸ばしたりして形を整える作業は細かく、色の調整具合も大変だった」とのことです。

また、これまでの受賞実績等から鑑査なしで出品できる資格を持っていますが、今まで受賞した賞の中で最高の無鑑査賞を受賞しました。



大月駅逸品マップ

